



令和元年スタート！

# 大田市立病院 訪問看護ステーション



おたより 発刊第14号  
2019.7



訪問看護ステーション所長 松原 愛美

平成 29 年 4 月より訪問看護ステーションで勤務しており、今年 4 月より所長に就任致しました。ようやく訪問看護の世界に慣れてきた矢先であり、職責の重さに戸惑いはありますが、頼りになるスタッフと共に、大田市立病院訪問看護ステーションを利用してよかったと思ってくれるよう、笑顔と安心・温もりある看護をお届けしたいと思います。訪問看護に携わり、3 年目を迎えましたが、私にとってご利用者様・ご家族様の笑顔が、何よりも原動力となっています！皆様が、住み慣れたご自宅で望む生活ができるように、看護の視点で支援できることを嬉しく思います。スタッフ一同、訪問看護に必要な知識と技術を身に付け、サービスの質の向上を図っていきけるよう一生懸命頑張っていきます。よろしくお祈りいたします。

## こんにちは！訪問看護です



皆様はじめまして。4 月より訪問看護で勤務しています飯島真紀と申します。

私は祖式町で生まれ自然豊かな所で育ち、浜田市の看護学校を卒業しました。地元を離れて大田市の良さを感じ、平成 16 年に大田市立病院に就職しました。早いもので 15 年が経過しました。病棟での勤務を経験し 4 月より訪問看護へ異動となりました。病院とは違って新しいことを経験する毎日です。そして、やっぱり住み慣れた自宅で過ごすって素敵なことだなと感じています。皆様にお会いできる日を楽しみにしています。

## 同行訪問を体験して

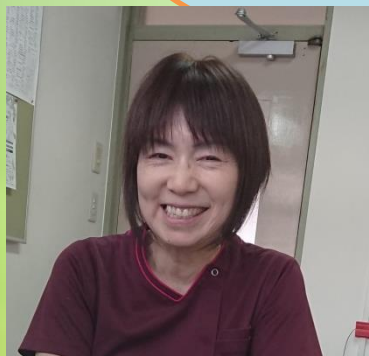
病棟、外来看護職員と訪問し利用者様の生活状況、在宅における看護の実践や工夫を知ってもらい退院支援に活かしていけるよう同行訪問を行っています。ご協力頂いた利用者様には感謝致します。今後も継続して行う予定でございます。ご協力を宜しくお願い致します。

糖尿病看護認定看護師 白根 弘美

20 年看護師をしていて、初めて患者様の自宅を訪問させて頂きました。患者様の生活を実際に見させて頂き、患者さんのことを表面でしか見ることが出来ていなかった自分に気が付きました。患者様の生活を見ることが出来る訪問看護は、その人に必要な支援がその場で出来て、他の支援にも繋げることもできます。今後も機会があれば、同行訪問したいと思いました。



大田市立病院  
訪問看護ステーション



2 月から訪問看護ステーションに配属となりました 松原裕美です。昨年 4 月から 1 階病棟と兼務という形で、毎週木曜日に訪問させて頂いていましたが、訪問のユニフォームを着て、自分の名刺を作り、利用者さんのお宅を回っております。かなり方向音痴のため、利用者さんのお宅にたどり着くまで毎回ドキドキですが、利用者さんや家族の方々とお話をたくさんして、利用者さんが安全でそして楽しく生活を送られるよう手助けをしていきたいと思っております。今回私の異動で松原が 2 人になりました。方向音痴の松原裕美で覚えて下さいね。ではよろしくお祈りいたします。



前管理者の田中成子です。1 年間という短い期間でしたがご利用者の皆との触れ合いの中で在宅での生活を知り、健康を保つために訪問看護師として何ができるのかを考えることができました。未熟な私を受け入れて下さった皆様には大変感謝しております。

今後とも当訪問看護ステーションをご利用、ご指導頂ますようお願い申し上げます。本来ならば訪問し、ご挨拶を申し上げるところでございますが、このお便りにて失礼いたします。本当に有難うございました。

がん化学療法看護認定看護師 増本和子

この度同行訪問させて頂いた方は、化学療法導入前のオリエンテーション、初回の化学療法～最後の看取りまでを介介させて頂いた患者さまです。認定取得後の間もない頃からの 11 か月の関わりの中で、治療における意思決定支援、最後の療養先の選択、患者を支える家族への介介など、患者・家族の意思に沿うよう訪問看護スタッフと共に考え模索しました。訪問看護師、連携室、外来、病棟が連携した症例であり、私にとって忘れられない患者様となりました。これからも、がん患者様が在宅で自分らしく生活していくためのお手伝いが出来れば幸いです。

4 階病棟看護師 岡田 紗羅

病棟で看護師として働く中で、患者様が「お家に帰りたい」と話を下さることがあります。自宅で生活をしたいと望む療養者とその家族を支える訪問看護師の仕事の間近で見て学び、その仕事の素晴らしさ、やりがいを感じた研修でした。

# 「かくれ脱水」

脱水症は進行するまで明らかな症状がないのが特徴です。脱水症になりかけているのに、本人や周囲が気づかないため有効な対策が取れていない状態を「かくれ脱水」と呼んでいます。春は気温の変動が激しく体の準備も出来ていないため、体温調節機能に異常が起きやすく要注意です。

☆高齢者は特に注意！

かくれ脱水は誰にでも起こり、水分補給によって改善しますが、高齢者の場合はその状態から元に戻る力が弱くなっています。従って、それをきっかけに通常の脱水症にまで進みやすいのです。症状として、唇のかさつき、口の中が乾燥、手の甲をつまんだ後にすぐに戻らない、めまい・ふらつき、手足の末端が冷たい！こんな症状が現れたら要注意です。

《かくれ脱水予防のポイント》

## 1. 規則正しい食生活

規則正しい生活を送り十分な睡眠時間を確保してください



## 2. 暑熱環境を避ける

外出時は肌の露出に十分注意してください。特に太い血管がある首はその影響が大きくなるので気を付けましょう



## 3. こまめな水分補給

「経口補水液」経口補水とは水と塩分と糖분을良く含んだ飲料で通常の水分補給であれば、スポーツドリンクでも十分ですが、脱水状態になってしまったときはスポーツドリンクよりも体に水と電解質が吸収されやすい経口補水液が適しています。  
※水分制限のある方は主治医の指示に従ってください。



令和元年に先駆け、大田市立病院訪問看護ステーションは、今年4月から新所長に松原愛美が就任し新体制を整え皆様のご家庭を訪問しております。

当ステーションも開設6年目となり、皆様から日々たくさんの学びを頂きスタッフの活力となっております。これからも利用者・ご家族の皆様の想いに寄り添い、ご自宅で安心して過ごして頂けるよう一生懸命頑張っていきたいと思っております。今年も宜しくお願い致します。

文責 月川法子 松原裕美